

報告第2号

令和5年度盛岡宿泊所運営状況等について

令和5年度盛岡宿泊所運営状況等について報告するものである。

令和6年2月9日

公立学校共済組合岩手支部

支部長 佐藤 一 男

令和5年度盛岡宿泊所運営状況等について

今年度は、令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類引き下げを機に、売上の主要部門である宴会利用の回復を図る為、市内近郊の組合員を中心にセールスの徹底に取り組み、宴会の予約件数はコロナ前の約7割まで回復し、売上は前年比を大きく上回る見込みである。宿泊についても、盛岡市の観光客増加の影響を受け、予約サイトの予約件数は大幅に増加した。更に会議利用については、宴会場を使用したりリモート会議の普及に伴い、新規予約が増加したことにより、コロナ禍以前よりも増加となっている。

支出については、売上増加に伴う費用以外は可能な限り抑制に努め、利益の確保に取り組んだ。

以上の結果、今年度の経常損益は損金を計上するものの、前年度及び計画値の損金を大幅に削減する見込みであることから、着実に収支改善が進んでいる。

また、施設整備については、支部の協力のもと、消防設備防災受信盤の更新や自家発電機修繕工事を実施し、今後も防火シャッター更新工事を予定するなど、施設の安全面の向上を図っている。

なお、公立学校共済組合本部より令和5年10月10日付け公本施第491の43号の通知において、今年度から変更予算を行わず、最高限度額の確認のみ行うこととなったことから、収支状況について、以下の表のとおり報告する。

単位：千円

科 目		決算見込 A	当初予算 B	増減	増減理由	
収 入	宿 泊	37,039	36,763	276	観光客の増	
	施 設 収 入 外	会 議	56,912	52,220	4,692	リモート会議の増
		宴 会	118,418	96,582	21,836	組合員の回復
		婚 礼				
		グ リ ル	37,889	26,559	11,330	ランチ増、計上方法変更による増
		そ の 他	437	343	94	自動販売機手数料増
	計	250,695	212,467	38,228		
	商品売上	4,247	28,446	▲24,199	デリバリー減、計上方法変更による減	
	賃貸料・その他	7,098	6,645	453	駐車場賃貸料の値上げによる増	
	特別利益					
	追加費用負担金	1,245	1,500	▲255	昇給停止による減	
保健経理より繰入	15,000	10,000	5,000	防火シャッター更新工事増額による増		
経常収益①		278,285	259,058	19,227		
支 出	人件費	117,816	117,200	616	人員補充による増	
	材料費	57,912	56,340	1,572	収入増加に伴う仕入増	
	営業費	99,938	119,855	▲19,917	整備計画繰越による減	
	償却費	20,003	19,012	991	防災受信盤新設による増	
	特別損失					
経常費用②		295,669	312,407	▲16,738		
経常損益 (①-②)		▲17,384	▲53,349	35,965		

※人件費に追加費用負担金を含む